

製品のPR・ニュースリリース支援等により官公需向けの販路開拓を実現

成瀬化学株 (三重県)

会社概要: (本社)三重県亀山市関町木崎1703-3 (設立)1973年8月 (資本金)3,120万円
(事業内容)建築土木用の防水材、防食材等の製造及び販売

1. 相談のきっかけ

- ・平成26年8月に取引金融機関からの紹介を受け、本企業の社長と常務が同金融機関の支店長と共によろず支援拠点に来訪。
- ・本企業の環境対応製品である、水性ポリエチレン系防食防水塗膜材「ナルコートJW」について、官公需の受注確保に向けた具体的な方策の助言を求めている。

2. 課題整理・分析

【強み】自社の製品は揮発性有機化合物および環境ホルモン物質を含まない。そのため工事現場作業者にとって、また環境面でも安全・安心に活用できる。

【状況】県内の上水道工事においては日本水道協会に規格化された製品しか利用が難しい。規格化されたのは平成26年11月であり、相談を受けた同年8月時点では利用ができなかった。

【課題】強みを生かす場として公共工事での活用が見込まれるが、あまり利用されていない。その理由は規格化されていないことであったが、別の要因としてPRが不足している点も確認。

3. 解決策の提案

製品の規格化を待つ間、以下の3点を提案。

①SCOを中心にニュースリリースの作成と記者発表の実施支援。書き方はもちろん、各媒体への提出方法についても情報提供を行った。

②県の水道部や市の水道局へ同社製品の強味を周知するためのプレゼンテーションの実施支援。

③PR効果を狙い、三重県の環境生活部が毎年実施している「みえ環境大賞」へ応募し、受賞に向けた計画ブラッシュアップ支援。昨年度受賞企業・応募時の留意点についても情報提供。

4. 成果

解決策を実施した結果、次の成果が出た。

①ニュースリリースの支援により、平成27年2月16日に中部経済産業局記者会において、担当常務が記者発表を実現(COも同席)。

⇒翌日の朝刊に記事が掲載され、引き合い見込みの照会の電話が早速入った。

②県の上水道事業の窓口となる部署を当拠点より紹介。平成27年3月には、よろず支援拠点のCO、SCOが同席の上で同社の常務と担当部長が約1時間かけてプレゼンテーションを実現。

⇒今後さらなる工事関係業者への営業展開が見込まれる。

※今後の展望

「みえ環境大賞」については現在公募期間中であり、具体的な成果は出ていないが、申請書の作成等で力強いサポートを約束。受賞となれば本企業の製品品質のPRの機会がさらに増え、認知度向上・売上拡大の見込みがさらに期待される。

報道関係者各位

ニュースリリース(一部)

平成27年2月10日
成瀬化学株式会社

環境に優しい「水性ポリエチレン樹脂塗料」の規格制定
「ナルコートJW」が規格をクリアする塗料
制定された規格:JWWA K 160:2014 「水道用コンクリート水槽内面 水性ポリエチレン樹脂塗料」

日本水道協会は、水道用コンクリート内面水性ポリエチレン樹脂塗料(JWWA K 160:2014)の仕様を平成26年11月5日付で規格として制定しました。この規格は、上水道施設の防食防水塗膜材として塗布する一液水性ポリエチレン樹脂塗料を規定するもので、揮発性有機化合物及び環境ホルモン物質を含有せず、衛生面にも配慮された塗料である条件を明示したものです。この規格によって、既存・新設の上水道施設(取水場、浄水場、配水池等)において、今まで以上に、容易に、かつ長期的に、安心して利用できる水道施設の環境を提供することができるようになりました。

本年10月に、成瀬化学(株)の「ナルコートJW」を利用して10年前に施工した施設8か所を日本水道協会、関係自治体が調査した結果、「ナルコートJW」は、防食防水機能において、十分な耐久性を有していることが立証されたため、この「ナルコートJW」の仕様をもって、水道用コンクリート内面水性ポリエチレン樹脂塗料の規格(JWWA K 160:2014)として制定されました。よって、成瀬化学製の「ナルコートJW」は、今回制定された規格に合致する材料です。



ナルコートJW



記者発表風景